

豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 (役職名)
2024年 4月19日(金)	日高振興局 地域振興課	0796-21-9056 (内線5405)	吉田政明 (課長)

(件名)

2024年度 植村直己のひと・こころを伝える企画展 「植村直己没40年 妻への手紙」の開催

(内容)

市立植村直己冒険館では、2024年度第1回企画展として、植村直己のひと・こころを伝える『植村直己没40年 妻への手紙』を開催します。

1 開催期間

4月20日(土)～9月30日(月)

2 開催場所

市立植村直己冒険館 企画展示室

3 展示構成

- (1) 植村さんと公子さんとの出会い
- (2) 婚約者「野崎公子さん」への手紙：ダウラギの山中から差し出した山のスケッチ
- (3) 妻となった「植村公子さん」への手紙：スイス。1万2千キロの犬ゾリ旅
- (4) 植村夫妻の思い出のスナップ写真
- (5) 10年間の結婚生活を振り返り綴った公子さんの植村さんへの想い

4 入館料

大人(高校生以上)550円、小人(3歳以上)330円

※ミュージアムエリアのみどころ**base**への入館料は別途必要です。

5 その他

詳細は、別紙概要を参照してください。

《企画展に関する問合せ》

植村直己冒険館(担当：岡本)

TEL 0796-44-1515

《植村直己顕彰事業に関する問合せ》

日高振興局地域振興課(担当：山川)

TEL 0796-21-9056(直通)

2024年度 第1回特別展示概要

2024. 4. 15 豊岡市立植村直己冒険館

名 称	2024年度第1回企画展 植村直己のひと・こころを伝える企画展
テ ー マ	植村直己没40年 妻への手紙
期 間	令和6年4月20日(土)～令和6年9月30日(月)
展示場所	豊岡市立植村直己冒険館 企画展示室
趣 旨	<p>植村直己さんは、記録することの重要性を直感的にさとし、それを生涯にわたって実行しました。そのことを証明するかのように遠征先や旅先からの数多くのスケッチや手紙を残しています。</p> <p>今回は植村さんが、婚約者、そして妻となった公子さんへ書き送った手紙を、「心のメッセージ」として紹介します。</p> <p>1974年、植村さんは結婚を前に、母校・明治大学山岳部OB会の炉辺会から、ヒマラヤ、ダウラギリV峰偵察の要請を受け、偵察隊に参加します。山中では、郵便葉書がなく、麓の紙屋に売るためヤクの背中に積んで運んでいる和紙を買って、毎日のように手紙を書きました。和紙にマジックで描かれたヒマラヤ山脈の素晴らしい風景は、山行記録のようでありながらも、公子さんへの優しい心遣いや愛情があふれ、山の魅力を伝えたいという思いが綴られています。</p> <p>また、帰国後、挙式を行い、晴れて夫婦となり新婚生活が始まりましたが、それも束の間。アウトドアメーカーのアルプスツアーの案内役を引き受け、再びスイスへと旅立って行きました。スイスからも妻となった公子さんへの変わらぬ情愛が手紙の随所に見られます。</p> <p>来館者に、手紙・スケッチを通して、植村さんの公子さんへの思い、何事にも一所懸命な人柄を読み取っていただきたいと考えます。</p> <p>2024年、植村夫妻は結婚50周年、また植村さんが消息を絶ってから40年を迎えるこの機会に、植村夫妻のお互いを思いやる心と、冒険の記録とは一味違った「植村直己」の人間味あふれる一面を感じていただければと思います。</p>
展示構成	<ol style="list-style-type: none">① 植村さんと公子さんとの出会い② 婚約者「野崎公子さん」への手紙：ダウラギリの山中から差し出した山のスケッチ③ 妻となった「植村公子さん」への手紙：スイス、1万2千キロの犬ゾリ旅④ 植村夫妻の思い出のスナップ写真⑤ 10年間の結婚生活を振り返り綴った公子さんの植村さんへの想い
展示品	<ul style="list-style-type: none">・ 山のスケッチ(パネル) 朗読の動画・ 植村さんが書き送った手紙(実物)・ 1985年、マッキンリーに飛び、山に花をたむけた公子さんの写真(初公開)
その他	リーフレット配布(1994年「山と溪谷」ロングインタビュー等)